

支援センター だより

3

栄町住民活動支援センター



支援センターHP

2026(令和8年) No.259

活力あるまちづくりを進める活動の拠点として

3月13日 発行

2面…報告

3面…住民活動ってな～に！

4面…インフォメーション

あれも、これもボランティア活動

春です！**できることから はじめてみよう！！**

【まもる】

- ・ゴミ拾いで街をきれいに
- ・地域の防犯パトロール
- ・地域の祭りや伝統文化の伝承
- ・里山や水辺の自然保護 など



【たすける】

- ・被災地で復興のお手伝い
- ・子ども食堂での子ども支援
- ・体が不自由な方の手助け
- ・農作業のお手伝い など



【ふれあう】

- ・施設入居の高齢者とおしゃべり
- ・スポーツを通じた地域の交流
- ・外国人との交流の場など



【スキルを活かす】

- ・社会貢献活動の写真・動画の撮影
- ・イベントの司会や音楽の演奏
- ・広報活動やWEBサイト作成
- ・法律相談などのアドバイスなど



“自分の人生もちょっと豊かに！”あなたに合う活動がきっとあります。

ボランティア活動を始めるのはちょっと難しいなあと思っている人には、、、
「応援する」活動をしてみませんか。

- ・市民活動団体の賛助会員になって応援・社会貢献活動につながる寄附で応援

千葉県ボランティア活動ブックより

ちょっとボランティア

ちょっとの時間
ボランティアをしませんか

- ・大芝土手の桜の木の整備→第2土曜日
- ・認知症サロンのお手伝い→第3金曜日
- ・ふれあい花壇の植栽(ふれあいプラザ)→第2土曜日
- ・安食駅前近辺の清掃→毎月末日(12月末日は休み)
- ・使用済み切手の整理→第2木曜日

ちょっとボランティアについての詳しいお問い合わせは 栄町住民活動支援センターまで

Tel 0476-80-1833

報告 1

= 手作り応援旗 1000本 配りました!! =

2月15日(日) 4月並みの春の陽気の中「2026 リバーサイドさかえドラムマラソン」が開催されました。今年は松本尚衆議院議員をお迎えし、熊谷俊人 千葉県知事は全国各地からエントリーした約2,500人のランナーと一緒に参加、10キロの部を完走されました。例年に増して熱気あふれる大会となりました。

会場は、早朝からランナーやご家族、応援する人達でいっぱいになりました。

ボランティアの人達や支援センターに来られた方々が作成した1000本の支援センター手作り応援旗を「くださ〜い」と言う多くの声をいただき、ふれプラの玄関前や沿道でボランティアの皆さんと一緒に配りました。

年々「手作り応援旗」の認知度も高まっているようで嬉しいです。

「手作り応援旗」は応援の効果を何倍にも高めランナーの力になったことでしょう。

皆さまのご協力に感謝します。ありがとうございました。



ふれプラ玄関前



みんな
がんばれ!!!

報告 2

= 千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議に参加して =

令和7年2月9日(月) 千葉市文化センターにて「これからのNPO支援はこう変わる」～多主体連携とAI活用～というテーマで講師の特定非営利活動法人協力アカデミー代表理事 松原 明氏による千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議が行われました。

まずNPO支援の在り方は時代の流れとともに変化しているそうです。

- ・共助型 (同じ活動する仲間を増やすことで課題を解決する)
- ↓
- ・支援型 (提供するサービスの量を増やすことで課題を解決する)
- ↓
- ・協力型 (多様で異なる関係者それぞれの活動を変容強化して課題を解決する)

これからのNPO支援は多様な主体との協力を作り・発展させていくことが新しい時代の大きな役割になっていくことがわかりました。

また、成果のアウトカム指標(地域がどう変化したか)を出しにくい分野とされてきましたが、AIを活用することで作業の効率化や新たな価値に役立つ手段になっていくそうです。例えば、地域の課題に関する悩みを数値に変換し、その数値をAIでデータ化することで診断⇒改善提案⇒効果が数値で可視化出来るようになり、課題解決力を測定することもできるようになります。またそれに付随する情報や文書・チラシ作成・企画・アイデア出し・情報発信等のさまざまな分野でAIを活用できるそうです。

NPO支援センターは時代の変わり目においてさまざまな壁に直面していますが、時代の変化を据えることが出来れば将来新たな可能性が広がることを期待できると思いました。



住民活動ってな～に？



●住民活動ってなに？ 特別な人がやっていること？



なんとなく難しいように感じますが、実は、たったひとりの思いから始まります。「美しい自然やゆったりとした町で暮らしたいのに、道や公園にゴミが落ちている」と気づき、地域をよくしようと行動すればそれは「住民活動」の始まりです。また、ふれプラでオカリナを習っている人たちが、自分だけで楽しむなら趣味だけど、皆で福祉施設や学校を訪問して多くの人に演奏を楽しんでもらったら、それはもう立派な住民活動ですよ。つまり住民活動は公益性があって、みんなのためになることをすることです。



●やっぱり、むずかしそうね。



むずかしくないですよ。栄町って好きですか？



●緑が多くて好きだけど、公園が草いっぱいだし、最近気になることもあるわ。



「こういう町になったら住みやすいだろうな」という思いが集まると町は変わりますね。例えば「小さな子ども連れや高齢者の方がホッとできる居場所があったらいいな」「空き家が増えているように感じるけど防犯的に大丈夫かな」など気になることはたくさんありますね。なんとかしたいなと思う人が「自分たちでできることからやってみよう」って始めている人がいっぱいいます。



●へえー たとえば。



公園や緑道に花を植えたり、介護の手助けをしたり、高齢者のための認知症サポートサロンを開催したり、子どものための居場所づくりや地域のあそび場（プレーパーク）などを作っている団体もあります。



●でも公園のことや子どものこと、空き家対策などをするのは行政でしょう。



今まで行政だけがしていたことを住民も一緒に、より住みやすい町になるように考えていくことはできますね。義務でもなく誰からも強制されず自主的に行う住民活動は、行政では対応できないことに果敢にチャレンジできる「自由な」活動です。自分も楽しい、皆にも喜んでもらえる、同じ思いの人たちが集まって自分たちのことは自分たちでやろうと動く。そんなことができたらいいですね。



●特に資格や特技は無いんですが、私に何かできますか？



資格や特技は必要ないです。町を愛する気持ちが大事です。はじめの一步！一緒にやりませんか。支援センターにお立ち寄りください。いろいろな情報があります。

=活動団体パネル展 開催=

栄町住民活動ふれあいまつりで掲示した活動団体のパネル展を、支援センター内交流サロンで毎月開催しています。団体の活動を知る良い機会です。ぜひ、お立ち寄りください。

〈5月〉経済・団体の運営・連絡助言・援助・男女共同参画

- ・栄町商工会女性部・栄町古文書学習会・栄町を愛する女性の会
- ・NPO 法人まちづくりサポートひと・まち倶楽部

住民活動支援センターの
開館中は見学自由

〈6月〉環境・国際

- ・栄町さくらの会・招きねこの会・さかえ水土里の会・ポレ・ポレ

〈7月〉災害・情報・子ども・国際

- ・栄町赤十字奉仕団・パソコンを楽しむ会・栄町更生保護女性会

重要!

【栄町住民活動支援センターからのお知らせ】

① Eメールアドレスの変更

4月から栄町住民活動支援センターのEメールアドレスが変更になります。お手元のアドレスを修正の上、ご利用ください。

新しいEメールアドレス：s-jukatsu@town.sakae.chiba.jp

② 団体用のパソコンがなくなります。

パソコンや携帯電話、タブレットなどが普及して様々な情報が、いつでも・どこでも入手できるようになり、支援センターの団体閲覧用パソコン利用者は、ここ数年年間7名から15名程度にとなっています。そこで、3月末をもって団体閲覧用パソコンを廃止することになりました。

なお、閲覧したい場合は図書室のパソコンをご利用ください。

③ 掲載しませんか。(登録団体のかたへ)

支援センターだよりにイベント等の掲載をしませんか。センターだよりは町内会・自治会で回覧していただいていますので、目にしてもらうことの多い広報紙です。掲載を希望する団体は、イベント等を開催する2カ月前までに支援センタースタッフまでお声かけください。